

## 化学安全スクーリング 2026

## —化学実験室における安全管理指導者の養成—

労働安全衛生規則 化学物質管理者（大学や試験研究機関等）の講習に最適

主催：日本化学会 環境・安全推進委員会

協賛：日本化学会 近畿支部

会 期 2026年8月3日・4日  
会 場 化学会館 会議室（東京都千代田区神田駿河台 1-5）  
<https://www.chemistry.or.jp/access/index.html>

## 対 象

化学のみならず広く科学分野で化学実験をおこなう大学、研究機関、企業研究所等の研究チーム指導者および環境安全管理担当者。化学物質を取り扱うすべての研究者・技術者・学生。

なお、労働安全衛生規則の改正に伴い化学物質管理者（安衛則 12 条の 5）の選任が必要となりますが、本講習は大学や試験研究機関など（リスクアセスメント対象物の製造事業場以外の事業場）の化学物質管理者が受講することが望ましい内容\*を含むとともに、より分かりやすく解説する講習となっています。

\*厚生労働省労働基準局長通達(令和 4 年 9 月 7 日付け基発 0907 第 1 号)

## 趣 旨

化学実験に関わる安全と衛生に関して総合的に学ぶ講習会です。安全・衛生管理の基本から、事件事例やヒヤリハット、そこから導き出される教訓と、改善や安全教育のあり方、化学物質の潜在危険と取扱方法、救急対処法などについて、最新情報をもとに多角的な視点から解説いたします。受講者からの具体的質問・ケーススタディによるディスカッションを交えた、能動的なスクーリングとしてご活用いただきます。

R5 年度から内容を更新し、化学物質が有する 3 つのハザード（フィジカルハザード、健康影響、環境影響）およびリスクアセスメント・マネジメントの解説をより充実させるとともに、労働安全衛生法の法令改訂により R6 年度から化学物質取扱い事業場に選任が義務づけられる化学物質管理者が受講すべき専門的講習に求められる内容も包含させております。今回はトピックスとして「火災に関する保険金支払事例からみた教育研究機関の課題」について有限会社 国大協サービス 事業部事業課長 近藤 真史様にご講義頂きます。

また、講義資料の他、テキスト（安全な実験室管理のための化学安全ノート：丸善出版）を当日配布し、講義終了後に修了証を発行します。

## プログラム

## 8月3日

12:00-12:10	開会挨拶	土橋 律（安全小委員会 委員長/東京理科大学）
12:10-13:20	安全の基本	土橋 律（安全小委員会 委員長/東京理科大学）
13:30-14:30	事件事例と教訓	佐藤 康博（消防庁消防研究センター）
14:40-15:50	実験室安全の枠組み	豊田 太郎（東京大学）
16:00-17:00	化学物質の火災・爆発危険性	熊崎 美枝子（横浜国立大学）
17:10-18:00	意見交換会	

## 8月4日

10:00-11:10	化学物質の健康有害性と予防・応急措置	色川 俊也（東北大学）
11:20-12:30	化学物質の環境影響	辻 佳子（東京大学）
13:30-14:40	実験研究の安全管理と危機管理	富田 賢吾（名古屋大学）
14:50-16:00	（トピックス）火災に関する保険金支払事例からみた教育研究機関の課題	近藤 真史（有限会社 国大協サービス 事業部事業課長）
16:00-16:30	質疑応答	

参加費 個人会員/法人会員 25,000 円、非会員 35,000 円

申込先 チケット申込サイト「Payvent」よりお申込みおよび事前決済を行ってください。なお、資料は当日配布いたします。詳細はリンク先にてご確認ください。

[https://app.payvent.net/embedded\\_forms/show/699e9c717b74f5f9da0570a8](https://app.payvent.net/embedded_forms/show/699e9c717b74f5f9da0570a8)

問い合わせ 日本化学会 企画部 石川/足立/河瀬 E-mail: env\_safe@chemistry.or.jp